

みやぎ復興パーク通信

みやぎ復興パーク活用レポート

みやぎ復興パーク 4周年懇親会 編

開設から4周年を迎えたみやぎ復興パーク。平成27年10月17日（金）に開催されましたみやぎ復興パーク4周年記念懇親会の様子をお伝え致します。

入居が27団体となり、入れ替わりも有る中で入居者間の交流の場となるよう2年振りに懇親会が開かれました。秋晴れの中、70名を超える方々にご出席頂き、終始和やかな会となりました。会場には、入居者皆様の事業・研究内容が分かるポスターと実際の商品や機器の展示コーナーを設け、実際に手に取ることも出来、大変有意義な会となりました。

＜みやぎ産業振興機構 理事長 井口泰孝より挨拶＞

ソニー株式会社仙台TECの建屋を利用し4年前にスタートしたみやぎ復興パーク。多賀城市、ソニー株式会社仙台TECのご協力のもと、本日70名を超える方々と素晴らしい夕焼けの今宵、懇親を深めあうことが出来る機会を頂き感謝いたします。初期より続けている地域のものづくり産業と新たな産業の拠点として被災中小企業の復興事業を加速し、次の発展につなげると共に、被災中小企業と大学との新たな産業創出の場



となる施設です。テレビで放映されましたように安倍首相にもご見学頂いたことで、国際的にも見学者が増えています。多賀城市には防災減災と地域に根ざした活動をして頂いています。今会場には、入居企業27団体のパネルの展示をしていますが、新たな技術開発、研究開発の拠点として、また障がい者の雇用と幅広い分野の方々が利用しているのが分かります。震災前の

生産を取戻し、更なる飛躍と発展をめざし、ソニー株式会社仙台TECのおかげでこのような自慢の施設がありますこと、そして、みやぎ産業振興機構の企業支援メニューの一助として頂けましたら幸いです。

＜東北大学 長谷川史彦教授よりご挨拶＞

震災から4年も経ったのだと感慨深いものがあります。ソニー社員が、長靴と合羽を着用し構内の泥を掻き出してくれた施設を、こうして我々は使わせて頂いております。4年間いろいろありましたが、みやぎ産業振興機構が大家として私たち入居者のお世話を頂いております。

私たちの研究開発、皆様の仕事ができる環境となるよう多賀城市のご協力を頂き、この施設企画をしたものの一人として、東北地域の発信として、元気なところを見てもら



いたいと思います。他方から大型バスで見学に来られ、みやぎ復興パークを維持していくことによって皆様の活性化にもつながると思います。そして、みやぎ産業振興機構としてお借りしている施設でソニー株式会社仙台TECが敷地全体で生産を再び始めて下さることをお祈りしています。私たちがここでやらなければならないこと、同じ目的で東北での新しい産業と雇用を、違った分野の得意技を持ち寄り、この会場でお知り合いを作り、これからも頑張っていきましょう。本日はおめでとうございます。

その後、みやぎ復興パーク北村悦朗館長の乾杯、入居企業のポーラテクニカ株式会社渡部明彦取締役、川名隆宏プロジェクトマネージャーよりご挨拶を頂き、展示コーナーでは各企業よりご説明を頂きました。



中締め ＜ソニー株式会社仙台TEC 大崎博之代表よりご挨拶＞

みやぎ産業振興機構前理事長の中塚先生をはじめみやぎ産業振興機構、行政機関、東北経済産業局にはただならぬご尽力を頂き、開設から4年間大きな事故もなく進められ、そこには事務局のご尽力と本日お集まり頂いています皆様方のご理解とご協力で大過なく、ここまでできました。長谷川先生のお話にもありましたように、この施設はビジネスの復旧にご利用頂き、ご入居



中の皆様には元の工場に戻るため巣立つパターンと、次の産業への足掛かりとして新しい製品を製造する等、この地で進めて頂けたら、みやぎ復興パークの大成功と思っています。

1年半前には入居企業とソニー株式会社仙台TECとの見学会を開催し、双方のコラボレーションが出来ております。これからも、みやぎ産業振興機構の井口理事長をはじめ、減災リサーチパークとしてご支援頂いた行政機関、ご尽力頂きました東北大学長谷川先生、入居企業のご協力を頂き、更なる発展を祈念致します。

(以上 敬称略)

＜会場の様子＞



【発行及び復興パーク通信のお問合せ先】

公益財団法人みやぎ産業振興機構 産学連携推進課

〒980-0011 仙台市青葉区上杉一丁目14番2号

TEL 022-225-6638 FAX 022-263-6923

(みやぎ復興パーク 平成27年10月の状況)

○入居者数・・・27団体(入居率57%)

○見学・視察件数・・・7団体126名(当年度累計：24団体370名)